

日時: 令和6年2月13日(火) 18時30分

場所: 貴生川公民館2階集会室 協力: 立命館大学



会議内容として

1 貴生川駅南口官民連携交流拠点基本計画(素案)について

説明内容(抜粋)

(1) 貴生川駅周辺の現状と課題

○年齢階層別の人口ピラミッドで、H27~R2の変化をみると、5歳未満と20代後半~30代前半の層の増加が大きい。ファミリー世帯が流入していることがうかがえる。

(2) 貴生川駅周辺エリアデザイン

○2040年を目指した将来像、機能的な連携、景観面に配慮した空間配置を設定。

○駅南口市有地周辺を第一期エリアとし、段階的に官民連携により整備を展開。

(3) 貴生川駅南口交流拠点基本計画イメージ(案)

○「若年層、成長世帯」をメインターゲットとし、市民が活動するための舞台となる広場空間や施設を整備する。

○JR草津線から視認性が高い「まちなか広場×交流施設×店舗モール」でのイベント、魅力により集客を囲む。

○第一段階として、駅直近での土地活用ポテンシャルを高め、徐々に南側街区、周辺へ展開していく。



2 まちづくり会社について

説明内容(抜粋)

○まちづくり会社とは、行政や市民、事業者が一体となり「まちづくり」を進めるために設立する民間の会社。まちづくり会社は地域密着型の民間として公益性と企業性を併せ持ち、行政だけでは実施が難しい事業等に取り組むことが期待される。

3 令和6年度以降のエリアプラットフォームについて

説明内容(抜粋)

○この2年間でエリアの魅力等の向上を目的に、未来ビジョンの策定や社会実験を実施

○「人口流出を留める機能を強化する」「鉄道を守り、公共交通結節点としての機能を高める」「整備の波及効果を市内全域に及ぼす」という大きな目的を達成するための一つの手段として、貴生川エリアプラットフォームを中心にまちづくり会社を設立したい。

○来年度はまちづくり会社準備会として、社会実験によりビジネス形態や組織形態の検討

4 今後の予定

○草津まちづくり会社への視察 令和6年3月19日(火)

○次回: 令和6年4月9日(火) 18時30分~@貴生川公民館